MAST

Mikawa Akabane Shizuoka Toyohashi

岡崎教区広報誌
2023年5月
第7号

発行所／真宗大谷派岡崎教務所
発行人／木嶋　孝慈
編　集／教区教化委員会メディア部会
印　刷／ブラザー印刷株式会社

研修会報告

臨時教区会・教区門徒会 開催
てら活（お寺の活動紹介）
岡崎教区青少幼年教化通信

写真：教務所から三河別院をのぞむ
撮影：上野 瞭

得度研修会

2023年2月26日、3月29日開催

昨年度に続き、感染症対策として日帰りの研修を開催いたしました。

講義では、子どもは講師が用意した「親鸞さますごろく」を通して、大人は僧侶・門徒それぞれの講師の話を通して、教えに出あい道を歩むことの意義について学びました。声明作法では、講師の手本に合わせて懸命に声を出す参加者の姿が印象的でした。全日程終了後に行われた得度（とくど）考査は、全員が合格しました。

今回の得度研修会が、参加者にとって新たな歩みの始まりとなることを願っております。

伝道研修会

2023年3月1日開催

講師：佐野（さの）　明弘（あきひろ）氏
（石川県光闡坊住持）

今年度の伝道研修会は〈いま、なぜ「念仏」なのか〉をテーマに開催いたしました。

講義は「なぜ」という言葉そのものを問うところから始まり、人間の根本的な課題を確かめながら、このたびの慶讃テーマでもある念仏について、教学的な見地を踏まえつつ語ってくださいました。班別座談や質疑応答の時間においても活発に意見が交わされ、参加者・スタッフともに、これまでの自身の学びや受け止めについて改めて確かめ合う貴重な機会となりました。

靖国問題学習会

2022年12月22日開催

講師：佐野（さの）　明弘（あきひろ）氏
（石川県光闡坊住持）

〈真宗大谷派と「靖国」〉をテーマに靖国問題学習会を開催いたしました。

真宗大谷派は以前から「靖国」を宗門に関わる一人一人の課題として学習に取り組んできましたが、「靖国から問われる課題とは何か」「なぜ課題となるのか」といった声を聞くことも少なくありません。

今回の学習会はそのような声に応えるべく、改めて靖国について考える機会として開催いたしました。今後も継続的に学習に取り組みたいと思います。

法宝物展示会

2023年2月23日～3月8日開催

2月23日～3月8日にかけて、『家康家臣団と浄土真宗』展～信仰を貫いた武将と女性たち～が開催されました。

三河一向一揆の後、三河の真宗が逆境の時代を迎える中、その信仰を貫いた人々がいた史実を伝え、その篤信（とくしん）を窺（うかが）い知る貴重な法宝物が展示されました。

本年は慶讃法要記念として例年より期間を延長して開催し、遠近各地より700名を超える方々にご来場いただきました。

法宝物学習会

2023年2月23日開催

講師：金龍（きんりゅう）　静（しずか）氏
（元本願寺史料研究所副所長）

法宝物展示会が開催されるに伴い、展示会初日の2月23日に法宝物学習会が開催されました。元本願寺史料研究所副所長の金龍静氏を講師に迎え、「徳川家康と三河・静岡の真宗」という題でご講義頂きました。

三河一向一揆の特徴は、各地でおこった一向一揆のように本山本願寺の関与がなく、三河を治める家康の権力を否定するものではなかった、あくまで、それまで認められていた寺内の不入権（ふにゅうけん）を否定されたことによるものだと、再確認できました。

各地で開かれた講演会での宣伝活動が功を奏し、123名（来場者85名、オンライン38名）の方にご参加頂きました。

同朋会学習会

2022年12月21日、2023年2月28日開催

講師：竹中（たけなか）慈祥（じしょう）氏（長浜教区真廣寺住職）
**　　竹中（たけなか）馨（かおる）　敏郎（としろう）氏（第31組蓮福寺住職）**

「講師のいない同朋会」、「みんなで作る同朋会」をテーマに同朋会学習会を開催いたしました。「講師のいない同朋会」はQ&A用紙を用いた雑談座談、「みんなで作る同朋会」は付せんを使ったワーク、アイスブレイクの手法を学びました。

お寺と門徒の関係性は、新型コロナ流行によって一層薄くなっています。そのような現状においてお寺で何ができるか、ということを堅苦しくなく学んだ貴重な時間となりました。

臨時教区会・教区門徒会 開催

教区会臨時会が1月18日に招集され、正副議長に

泉　敬祐 議長（第11組聖運寺）
安藤　誠也 副議長（第15組隨嚴寺）

が選出されました。

また、併せて参事会員及び参事会員補充員の互選も行われ、参事会員として、

大原　賢悟 氏（第4組浄寶寺）
嶋津　芳直 氏（第7組徳圓寺）
藤谷　信量 氏（第12組了願寺）
鈴木　量応 氏（第20組淨教寺）
石川　春成 氏（第25組陽龍寺）
杉浦　圭 氏（第30組長興寺）
大淵　貫栄 氏（第32組芳蘚寺）

の7名が、また参事会員補充員として、

藤原　傳良 氏（松平組徳山寺）
境　広昭 氏（第21組泉正寺）

の2名が互選されました。今後、宗門並びに教区の運営にご尽力いただきます。

今回は、教区会議長に就任した、泉氏に就任にあたっての抱負をお寄せいただきました。

教区会議長
泉敬祐（いずみよしひろ）

1964年生。前教区会副議長。東京宗務出張所非常勤嘱託。

このたびの臨時教区会において、図らずも議長に選任され、その重責に身の引き締まる思いがしております。

規則によりますと、議長の職務は「教区会の秩序を保持し、議事を整理し、教区会を代表する」と規定されています。これを浅学ながら私なりに解釈しなおすと、「多岐にわたる教区の課題や問題を抽出し、それを様々な観点から議論したうえで一定の方向性を見出し、教区内に周知する」ことかと思います。

ただし、言うは易しですが、実行することは容易ではありません。教区会議員の皆様、教区会と同じく教区の意思決定機関である教区門徒会の皆様、そのほか関係各位の皆様のご指導、ご助力を賜りながら微力を尽くしてまいりたいと存じます。何卒ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

教区会参事会員の顔ぶれ

上段左から　大淵貫栄氏、大原賢悟氏、杉浦　圭氏、藤谷信量氏
下段左から　石川春成氏、鈴木量応氏、泉　敬祐氏、安藤誠也氏、嶋津芳直氏

地域に開かれたお寺

第25組守綱寺（しゅこうじ）　渡邉貴之（わたなべたかゆき）　(1975年生まれ)
住所：豊田市寺部町2丁目27番地

守綱寺では、「お念仏の教えを伝える場」としてのお寺の役割を果たすことはもちろん、ご門徒さん以外にも、地域の方々や子育て中の若い方々に気軽に足を運んでいただき、お寺が様々な年代の方に開かれた場となる活動、仲間やつながりを求める方の居場所となる活動に力を入れています。

仏さまの教えを伝える活動として、

◆寺報の発行（毎月1回）
◆しんらん塾（毎月1回、土曜日の19時半～
お聖教をテキストとした聞法会）
◆読書会（各グループ毎月1回、主に10時～12時、テキストの輪読と座談）
◆お掃除講（1月・2月・8月を除く毎月1回、本堂でお勤め・前住職の法話の後、境内清掃）

などの活動を行っています。

参加者の方たちと、生活の中で起こる様々なことをご縁として、お念仏に出遇っていければと思っています。

地域の方に開かれた寺の活動として、主に月に1度、

◆俳句
◆裏千家茶道お稽古
◆野の花の会
◆みのりコーラス（月に2～3回）
◆書道
◆着物部
◆洋裁の日

などの活動も行っています。

それぞれの活動の中で参加者の方々は、手を動かしながら、口もよく動き、「楽しかった」「この時間が本当に貴重」と喜んで帰って行かれます。

また、子育て中の方たちの居場所として、

◆守綱寺絵本読み聞かせの会（毎月2回、本堂にて）
◆寺っ子クラブ（月1度、育児サークル）
◆守綱寺ファミリー合唱団（親子で歌える合唱団）

などの活動を毎月行っています。

未就園のお子さまを連れた若い方々がお寺の本堂に座り、お子さんと一緒に仏さまに手を合わせたり、袈裟を着けたお坊さんの話に耳を傾ける時間を持つことに慣れていただければと思っています。

また、昨年で20年の活動に幕を下ろしましたが「筍コンサート」など、ご門徒さん以外でも気軽にお寺に足を運んでいただけるイベントを企画し、プロの音楽家による演奏を楽しむと同時に、コンサートの中に「仏さまのおはなし」という前住職による法話の時間を設け、聞法（もんぽう）の場を提供してきました。お寺に足を運ぶことのハードルを下げ、お寺は身近な場所であると感じていただきたいと思っています。

時代の流れもあり、家そのものの継続が難しくなったり、墓じまい・仏壇じまいなど、これまで「当たり前」だったことが通用しない時代ですが、「守綱寺さんにお任せしておけば大丈夫」と安心していただけるよう、ご門徒の皆さまにもそれ以外の方にも、いつでも気軽にお寺に足を運び、何かあれば相談していただけるよう、寺を開いていたいと心がけています。

読み聞かせの会

筍コンサート

しんらん塾

岡崎教区 青少幼年教化通信

第17組　西方寺（さいほうじ）
榊原（さかきばら）　宏（ひろむ）（1987年生まれ）
住所：安城市里町本郷25番地1

第17組西方寺さんの青少幼年教化の取り組みについて、若院の榊原宏さんにお話を伺いました。

―西方寺さんの子ども会は誰が始められたのですか？

もともと父親が僕の同級生を中心に行っていましたが、自然消滅してしまいました。その後、僕が成人してから岡崎教区の児童教化連盟が主催する夏の集いにスタッフとして参加した際に、「うちのお寺でもやってみたい」と思い、再開することにしました。

―子ども会の周知の方法は？

お寺の法要のときに口頭で案内したり、町内の回覧板を利用したりしています。

―開催頻度はどの程度ですか？

新型コロナ流行前は夏休み期間中に1回、1泊2日で行っていました。昨年の夏に再開したのですが、1日の日程にしました。状況が変わればまた泊まりの形に戻したい気持ちはあります。しかし、スタッフの中には「泊まりは大変だから1日が良い」と言われる方もあります。

―スタッフ体制はどうなっていますか？

内容などは家族で考えます。当日は人手がいるので、お寺のお講である炊事講の方々（9名、全員女性）に手伝ってもらっています。僕の友人に手伝ってもらうこともあります。昨年は知り合いのガールスカウトの方々に手伝ってもらいました。

―子ども会の参加対象は？

小学生以上にしています。泊まりなので、定員30人としています。毎年定員近くの参加があります。

―これまでに何かトラブルや失敗などありましたか？

特にありませんが、泊まりなので、夜に「帰りたい」と言い出す子はいました。気になる点としては、本堂での就寝です。エアコンがないので網戸にしますが、カギをかけていないところで子どもを寝かせることに不安は感じます。

―子ども会をして思うこと、感じることはありますか？

子ども会については、少しでも子どもの記憶に「お寺」というものが残ってくれれば良いと思ってやっています。

しかし、1泊2日だとどうしても制限が増えてしまいます。また、イベント感が強くなってしまいます。昨年、「夏休みの自由研究としてお坊さんの日常を知りたい」という子がいて、お朝事から月参りまで僕について回った子がいました。こういう日常的な触れ合いも大切だと思います。

日　程（2019年）	
1日目	2日目
13:30　開会式	6:00　起床
14:00　オリエンテーション	7:00　おつとめ
14:15　陶芸教室	7:30　朝食
15:30　自由時間	8:15　記念写真
17:00　おつとめ	8:30　掃除
18:00　夕食	9:00　自由時間
19:30　入浴	10:30　閉会式
21:00　お楽しみ（ビンゴ）	11:15　昼食
22:00　就寝	12:00　解散

〈岡崎教区青少幼年教化通信について〉

このページは教区教化委員会の青少幼年教化部会に協力いただいています。部会は、活動の一環として寺院での青少幼年教化の取り組みを取材しており、「岡崎教区青少幼年教化通信」は、その内容をまとめたものです。今後もさまざまな活動事例を紹介してまいります。

みんなの掲示板　おいでんみりん

日 日時　会 会場　講 講師　内 内容　テ テーマ　持 持ち物　費 参加費　対 対象　問 問合せ

※新型コロナウイルス感染症の影響により、急きょ変更となる場合があります。

教区

「伝道研修会」

日 5月2日㈫ 13時30分～17時30分
講 佐野　明弘 氏（石川県光闡坊住持）
テ いま、なぜ「念仏」なのか
費 無料
会 問 岡崎教務所
☎ 0564-22-2136
※教師陞補対象研修（一種）

「メディア研修会」

日 5月10日㈬ 14時～16時
講 橋本　真 氏（本山企画調整局参事）
テ 寺報作成について
費 無料
会 問 岡崎教務所
☎ 0564-22-2136

地域

三河地域教化センター

「別院さんの土曜法話会」

日 5月13日㈯
6月24日㈯
両日とも15時～17時
講 藤元　雅文 氏（大谷大学准教授、第35組寶徳寺住職）
テ 歎異抄（師訓篇）に聞く
費 1回500円
持 念珠、真宗聖典（お持ちなら）

会 問 三河別院
☎ 0564-21-0625

赤羽地域教化センター

「声明作法研鑽会」

日 ❶ 5月10日㈬ 17時～18時
内 ❶ 阿弥陀経、小経伽陀有
日 ❷ 6月7日㈬ 17時～18時
内 ❷ 無量寿経、大経伽陀有
日 ❸ 7月5日㈬ 17時～18時
内 ❸ 観無量寿経、観経伽陀有
講 織田　顕慶 氏（第8組宿縁寺）
費 無料
持 大谷派声明集、中陰勤行集、昭和法要式
会 問 赤羽別院
☎ 0563-72-2308

東三河地域教化センター

「聖教学習会　歎異抄に聞く」

日 5月19日㈮
講 平原　晃宗 氏（大谷中・高等学校宗教科講師、京都教区正蓮寺）
テ 歎異抄第8条
費 500円
会 問 豊橋別院
☎ 0532-52-5083

有志

「正信偈学習会」

日 ❶ 5月9日㈫ 13時～17時30分
会 ❶ 三河別院東別院会館
日 ❷ 6月13日㈫～14日㈫
会 ❷ 三河別院東別院会館
日 ❸ 7月4日㈫ 13時～17時30分
会 ❸ 豊橋別院
講 四衢　亮 氏（高山教区不遠寺住職）
内 正信偈のことばの解説だけでなく、私にまで伝わった本願の歴史、親鸞聖人のお心を深く掘り下げて学ぶ講座です。
費 1日日程　5千円
1泊日程　1万円
問 小栗　貫次
☎ 090-4252-7146

組、有志で公開学習会の案内掲載希望の場合は教務所へお問い合わせください。『MAST』は年3回の発行予定です。紙面の都合で、掲載できない場合があります。

※内容は変更となる場合がございます。詳細は教区・団体については教務所、地域については各別院までお問合せください。

書籍の紹介

仏教ゆかりの植物図鑑

東本願寺出版

蓮華や菩提樹をはじめ、仏典に登場する様々な植物たち。そんな植物の名前の由来や、物語を、釈尊（お釈迦さま）の生涯をたどりながら、色彩豊かな絵とともに紹介します。植物のみずみずしい世界と仏教の物語を味わう1冊です。ぜひご覧ください。

教区慶讃事業について

3月15日、第6回教区慶讃事業推進委員会が開催されました。委員長の稲前恵文氏が任期を終えられたため、新委員長の互選が行われ、泉敬祐氏（第11組聖運寺・教区会議長）が選出されました。

お待ち受け大会は無事開催することができましたが、今後も引き続き慶讃事業である教化体制の見直し、教学研鑽機関の設置等に委員一丸となって取り組んでまいります。

住職就任

第28組　樂圓寺　永井　道文
〔2022年12月28日任命〕

第1組　覺恩寺　安田　寛武
第6組　妙嚴寺　酒井　純
第7組　勝鬘寺　安藤　基
第24組　禮善寺　山田　悦子
第25組　光明寺　大谷　光成
〔2023年2月28日任命〕

編集後記

ご本山にて「宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が勤修され、全国からたくさんのご門徒が参拝されました。

聖人以降８００年以上繋がれた教え。人知れず伝道に関わった人達のご苦労を偲ばずにおれません。

この度、当メディア部会主催の「メディア研修会」では寺報について学びます。（P.7：おいでんみりん参照）

慶讃法要をご縁に〝伝える〟ことについて、今一度問い直したいものです。

（編集：べっぷ）

法語

人を尊敬せずして、
その人と交わりを続けておることは、
自らを侮辱することである

暁烏　敏

暁烏　敏（あけがらす　はや）

1877年（明治10年）～1954年（昭和29年）
石川県生まれ。清澤満之を師と仰ぎ、佐々木月樵、多田鼎とともに浩々洞を開設した。

※この法語は『日めくり法語　一語一遇』（東本願寺出版）より抜粋しました。

みなさまの声をお聞かせください

『MAST』に対するご意見、ご要望をお寄せください。下記メールアドレスにて受け付けております。
より多くの方に、手に取っていただける広報誌にするためにみなさまのご協力をお願いします。

岡崎教務所（MAST担当） okazaki@higashihonganji.or.jp

見つけよう、生まれた意義と生きる喜び
～生活の中心に南無阿弥陀仏を～

岡崎教務所　☎ 0564-22-2136

岡崎教区ホームページ　岡崎教区facebook